

羽幌町役場地球温暖化対策実行計画の点検・評価について

羽幌町役場は事務事業活動に伴い排出される温室効果ガスの発生を抑制するため、平成26年度に策定した「第2次羽幌町役場地球温暖化対策実行計画」に基づき、地球温暖化対策に取り組んでいます。

上記計画第4章2に基づき点検を実施し、平成19年度（基準年度）と平成26年度の温室効果ガス排出量（CO₂）を比較したところ次のとおりの結果となりました。

1 結果

	19年度(基準年度)	26年度実績	削減量	削減率
CO ₂ 排出量	3,225,374.8	2,789,715.9	△ 435,658.9	-13.51%

温室効果ガス排出量（CO₂）は基準年度と比較し、13.51%の減となりました。

2 点検

(1) 温室効果ガス別点検

【温室効果ガス別CO₂排出量表】

	(平成19年度)		(平成26年度)		削減実績量		削減率
	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	使用量	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	
ガソリン	16,587 ㍓	38,481.8	18,323 ㍓	42,509.4	1,736 ㍓	4,027.5	10.47%
軽油	15,128 ㍓	39,030.2	10,116 ㍓	26,099.3	△ 5,012 ㍓	△ 12,931.0	-33.13%
灯油	202,669 ㍓	504,645.8	210,582 ㍓	524,349.2	7,913 ㍓	19,703.4	3.90%
A重油	161,700 ㍓	438,207.0	98,200 ㍓	266,122.0	△ 63,500 ㍓	△ 172,085.0	-39.27%
LPガス	2,148.4 m ³	14,072.5	1,506.2 m ³	9,865.9	△ 642.2 m ³	△ 4,206.6	-29.89%
電気	3,184,502 Kwh	2,190,937.4	2,791,817 Kwh	1,920,770.1	△ 392,685 Kwh	△ 270,167.3	-12.33%
合計		3,225,374.8		2,789,715.9		△ 435,658.9	-13.51%

軽油、A重油、LPガス、電気使用量は、様々な取組により減少しています。特に電気使用量は、天売生ごみ処理機修繕によるものと、町内の街灯25ヶ所の削減、LED街灯器具への変更で大幅に削減しています。

灯油は、すこやかセンターの床暖房や、暖冬により各施設の燃料使用減少で昨年よりも大幅に削減しています。

ガソリンは、エコカー導入に伴い使用燃料の変更も使用頻度の増加も認められましたが燃料使用料は昨年と横ばいで推移しています。

(2) 課別点検

【課別CO₂排出量表】

	(平成19年度)	(平成26年度)	削減実績量	削減率
	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	CO ₂ 排出量 (kg-CO ₂)	
総務課	287,250.8	273,341.6	△ 13,909.2	-4.84%
財務課	1,872.2	0.0	△ 1,872.2	-100.00%
町民課	541,090.9	419,781.1	△ 121,309.8	-22.42%
福祉課	152,168.0	128,895.2	△ 23,272.8	-15.29%
建設水道課	868,949.3	796,398.7	△ 72,550.6	-8.35%
産業課 (農林水産課+商工観光課)	143,832.1	84,745.1	△ 59,087.0	-41.08%
学校管理課	832,585.5	740,803.7	△ 91,781.8	-11.02%
社会教育課	357,060.4	296,136.3	△ 60,924.1	-17.06%
天売支所	22,454.6	25,605.8	3,151.2	14.03%
焼尻支所	18,110.8	24,008.4	5,897.6	32.56%
合計	3,225,374.8	2,789,715.9	△ 435,658.9	-13.51%

現況、天売・焼尻支所は、新たな設備の導入(中学校開校)や町有施設の利用頻度の増加に伴い温室効果ガス排出量が増加しておりますがそのほかについては、全体的に削減が図られてています。

3 評価

羽幌町役場の平成26年度の温室効果ガス排出量は基準年度と比較して13.51%削減という結果となり、平成21年度に計画を策定して以来、初めて目標を達成することができました。

主な要因として暖冬による暖房機器使用の減少、町内の街灯25ヶ所の削減、省電力のLED照明器具への変更によるものと考えられ街灯も従来よりも明るくなり更に電気使用量は大幅に削減しています。

しかし、個別にみるとガソリンの使用量が増加しここ数年横ばい傾向が続いています。公用車使用の際はエコドライブ運転や計画的な走行を心がけ、燃料使用量の削減に努める必要があります。

平成27年度以降についても引き続き職員一人ひとりが節約を心がけ、目標達成が継続できるよう各公共施設における温室効果ガス排出の抑制に努めていきます。